

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会
滋賀県開催準備委員会
第8回競技運営専門委員会 議事録（概要）

1 日時

令和2年(2020年)2月5日(水)10:00~11:30

2 場所

滋賀県大津合同庁舎7階 7-A会議室

3 出席委員（五十音順、敬称略）

伊勢坊 美喜、浮田 豊史、岡本 直輝、坂下 和子、澤 弘宣、菅原 万智子、
中西 敦子、中村 傳一郎、前田 康一
（委員数 9名出席）（欠席 安東 雅恭、加藤 善明、東谷 正宏、八木 佐知男）
（事務局：高木事務局次長、事務局職員4名）

4 配付資料

別添のとおり

5 会議概要

説明事項（1）

※事務局から「第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会滋賀県開催準備委員会 競技運営専門委員会会議公開方針（改正案）」について説明。
原案どおり承認。

【質疑】

なし

審議事項（1）

※事務局から「第79回国民スポーツ大会記録業務基本方針（案）」について説明。
原案どおり承認。

【質疑】

（委員）

県の記録業務については、日本スポーツ協会が定めたシステムを活用するとのことであると認識。記録業務の流れから、①県送信員からの業務以降が県の記録システムに属するということ、②会場地市町では、各競技会において記録の収集、種別ごとの成績の算出等の業務を行い、③その結果を県送信員に渡すという認識で良いか？

（事務局）

県送信員には、各競技会場で集約した情報を、県記録本部に送ってもらうことを想定。また、各競技において帳票が存在するが、送信いただく様式等は県の方から提示したいと考えている。県のシステムを市町が使うことは想定していない。

（委員）

複数の市町に分かれて開催する競技については、県送信員は1名ということか。

(事務局)

その通りである。なお、複数会場に分かれて開催する競技については、幹事市に集約していただき、県に送信いただく流れとなる。

(委員)

記録の流れに帳票回付とあるが、会場地市町内で県送信員とデータを送受信することはないということか？

(事務局)

その通りである。

(委員)

以前、滋賀県で開催したスポーツマスターズでは、共同通信社が業務を担っていたが、当時と同様なイメージで良いか？データを帳票に落とし込む作業は大変時間がかかるため、直接リザルトデータを県に送信できるよう調整いただきたい。

また、ライブで記録を発信しても良いか？記録の扱いはどのように考えているのか？

(事務局)

来年度開催される鹿児島国体では、いくつかの競技については、業者の社員が直接会場に赴き作業を行うことと伺っている。結果のライブ配信については、今後検討していきたい。

(委員)

リハーサル大会での記録業務はどのように扱うのか？またパソコンなどの機材の調達はどのように行うのか？競技団体は機材の準備はしなくても良いのか？

(事務局)

リハーサル大会は、会場地市町と県競技団体が主催で行うものであり、大会の記録業務は会場地市町で完結するものと認識。また、県に記録を送信する業務は発生しない。

パソコン等の機材については、会場地市町現有の機材を使用いただくことを想定している。各競技団体において、独自のリザルトシステムを使用しているのであれば、ご協力いただきたい。機材が不足の場合の対応は、県の方でも補助制度等について、今後検討していきたい。

(委員)

リハーサル大会でも、実際の帳票などを使えるよう準備いただきたい。

(事務局)

そのようになるよう、準備を進めてまいりたい。

(委員)

複数市町にまたがって開催する競技については、よく調整をしてほしい。ICTの発展により今後記録システムの仕組みも変わる可能性もある。それにあわせて、スケジュール等も再検討する必要があるかもしれない。今年の茨城国体と同様にいくとは限らない。

また、写真や動画の扱いについても検討しておいた方がよい。県記録本部はどこに設置されることになるのか？

(事務局)

部屋の規模でいえば、滋賀県庁の大会議室ほどの広さを想定している。設置場所につい

ては、今後検討していくこととなる。

(委員)

各市町の準備が少しずつ始まっているところであり、県のマネジメントが必要だと考える。先行した準備をお願いしたい。

(委員)

システムがダウンした場合の想定はあるか？先催県からの情報を収集いただきたい。

(事務局)

基本的には、業者対応と認識しているが、先催県からも情報を収集するなどして、検討していきたい。

審議事項（２）

※事務局から「第79回国民スポーツ大会競技別リハーサル大会開催基準要項（案）」について説明。

原案どおり承認。

【質疑】

(委員)

リハーサル大会は、県は主催ではないということだが、競技役員や競技補助員にかかる教職員や生徒等の動員に対して、協力はしてもらえるのか？

(事務局)

まだ教育委員会との協議はできていないが、今後職務の取扱いや生徒の取扱いについて協議を進めていきたい。

(委員)

本大会もリハ大会も同様の扱いをされるという認識で良いか？

(事務局)

先催県においては、本大会もリハ大会も同様の扱いをしているところ。

(委員)

リハ大会は原則1年前となっているが、2年前や3年前の開催も可能か？また、開催費用について県の支援はあるのか？さらに、リハ大会の事前のリハ大会は市の理解があれば、開催は可能か？

(事務局)

リハ大会は、開催2年前の後半に、リハーサル大会補助金交付要綱を県の方で定めることとしているところであること、競技役員や競技補助員に従事していただく人ができるだけ同じ人であること等を考えると、やはりリハ大会の開催は1年前からが妥当と認識。

また、リハ大会開催経費については、2分の1の補助をすることをすでにお示ししているところ。

リハ大会以前の大会については、会場地市町と競技団体に検討いただきたい。リハーサル大会は、あくまで、当専門委員会において承認された大会のみとなる。

(委員)

会場の建設が間に合わない場合は、別の施設を使用してリハ大会を開催しても良いのか？

また、競技会場が完成していない場合については、例えばおもてなしだけのリハーサル、競技運営のリハーサルと分けて実施せざる得ない場合も考えられるのではないかと？さらに、大会規模が国体を上回らないとあるが、競技によっては難しい場合も予想される。原則でないことも今後出てくることが予想される。

(事務局)

原則をどこまでという判断は、競技団体、会場地市町、県で協議しながら進めていく。大会の規模を小さくしているのは、本番に向けた課題を洗い出しやすくするためという目的も含まれている。

(委員)

要望になるが、民間施設や大学の施設も会場となっている施設もあり、競技団体としては、むしろそのような普段使用していない施設でのリハ大会開催の協力を県の方からも協力いただきたい。

(事務局)

運営面からも、よいリハ大会となるよう、県も協力したい。

(委員)

来年の近畿ブロック大会(滋賀県開催)に向けて、各競技団体の組織力の差を感じている。我々の立場からも、大会運営能力の向上に向けて、支援や課題を解決していけるような場において適宜情報交換できるようにしたい。

(委員)

本大会は施設における諸室の仮設が多くなることが予想される。リハ大会も同様のことが考えられるため、県と会場地市町で経費面等についてしっかり協議をお願いしたい。

(事務局)

県としても、リハ大会の支援をしていく。ただ、リハ大会と本大会を同様に扱っていくかについては、現在協議・調整を行っているところ。

(委員)

障スポのリハ大会についてはどうか？

(事務局)

先催県においては、開催年度の5月から6月ごろに開催されており、本県も同様と想定しているところ。

(委員)

障スポのみにかかる競技団体が、国スポのリハ大会に手伝いに行くことはあるのか？

(事務局)

先催県においては、各競技団体の人員が不足している場合については、ブロック単位や、ボランティアでまかなっている状況である。

(委員)

新しい施設については、会場内の様々な機器がしっかりと活用できるのかといったリハーサルも必要となる。

(委員)

3年前には、本大会に向けたマニュアルやフローチャートを作成していただきたい。現在の課題が明確になり、リハ大会で課題をクリアしてもらいやすいのではないかと？

(事務局)

事務局の方でも、リハーサル大会の手引きや、競技会運営の手引きの作成することを想定しているところ。公表のタイミング等については、今後検討していきたい。

(委員)

一つ目、メディアについて。窓口は一本化されているのか？二つ目、先催県（先催2県分）の事例をもとに、各業務にかかるチェックシートがあれば準備する側も今後の見通しが立てやすくなる。

(事務局)

一つ目のメディアについては、不明な部分も多いので、先催県に確認をしたい。二つ目の先催県の事例として、競技用具の整備・競技役員等編成にかかる資料は会場地市町・競技団体に送付しているところ。他の業務についても、同様に進めていきたい。

(委員)

各業務の進行スケジュールや、今後の業務内容等が記載されたフローなど具体的な資料の提示があれば分かりやすいと思う。

(委員)

全競技の業務チェックシートや業務フローチャートがあると、競技団体はそれをもとに加筆・修正ができ、今後の見通しもつけやすくなるのではないかと思うので、検討いただきたい。

(事務局)

開催する全競技にかかる資料の作成は困難。現状としては、会場地市町の方が、先催市町で開催される報告会等に参加され情報収集されているところ。県としても、開催市町や競技団体が安心して業務に取り組めるよう、先催県から情報の収集に努めていきたい。

報告事項 *事務局から説明

- (1) いきいき茨城ゆめ国体・いきいき茨城ゆめ大会参加者アンケートの結果概要について
- (2) 日本スポーツ協会・国体委員会決定事項について（体操（新体操）の種別変更）
- (3) 競技運営関係等にかかる今後の業務スケジュールについて

(1) 福井しあわせ元気国体・福井しあわせ元気大会参加者アンケートの結果概要について

【質疑】

なし

(2) 日本スポーツ協会・国体委員会決定事項について（体操（新体操）の種別変更）

【質疑】

なし

(3) 競技運営関係等にかかる今後の業務スケジュールについて

【質疑】

(委員)

自衛隊の協力について、教えていただきたい。

(事務局)

各競技について、自衛隊の協力が必要か否かを2021年度に会場地市町に対して調査をさせていただく予定である。

(委員)

障スポにかかる記録業務やリハーサル大会等については、当委員会で審議するのか？

(事務局)

障スポにかかる事項については、全国障害者スポーツ大会専門委員会にて審議することとしており、当委員会では説明・報告事項として扱う。

(委員)

琵琶湖を使用する競技もあると思われるが、湖上封鎖等は県警の管轄と認識しているがどうか？

(事務局)

県警への協力はもちろん求めていく。自衛隊調査については、自衛隊に対して一括して協力依頼をするためのもの。

以上。